



酒井家庄内入部400年

酒井家庄内入部400年記念事業 全体事業計画



鶴岡市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています
SDGs未来都市 鶴岡

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会



江戸大口
食文化創造都市

鶴岡



JAPAN HERITAGE
日本遺産



酒井家庄内入部400年記念事業 全体事業計画

目次

全体事業計画について

徳川四天王の筆頭、酒井忠次を祖とする旧庄内藩主酒井家。
元和8年(1622)、酒井家3代当主忠勝が庄内に入部してから、令和4年(2022)に400年の節目を迎えます。

鶴岡・庄内は、明治以降今日まで旧藩主家がお住まいになっている全国的に稀有な地で、その固有の豊かな歴史や文化は、酒井家の400年の歩みとともに培われてきました。

本事業計画は、令和3年度から4年度にかけて推進する記念事業について、城下のまちづくりを軸に、普及啓発、情報発信、観光誘客、歴史発見に関する取組を計画的・効果的に実施するため作成したものです。

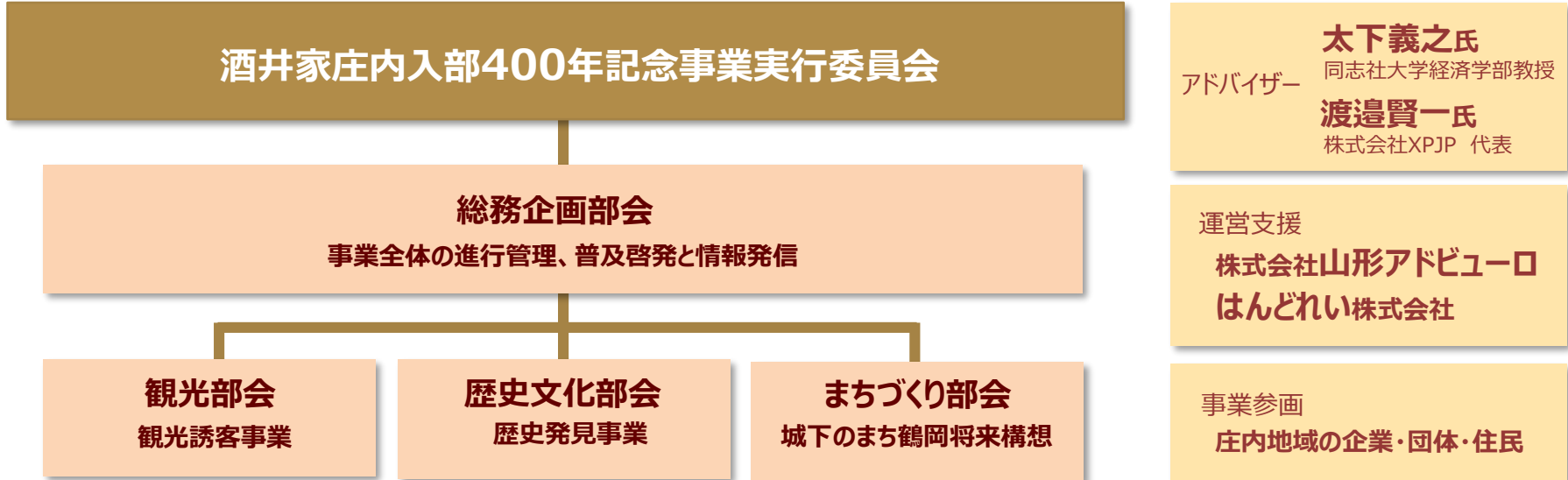
令和3年度から本事業計画に沿ってプレ事業を推進しながら、令和4年度記念事業の充実に向けた協議を重ね、2ヶ年にわたって、多くの皆様より地域の学びを深めていただくとともに、郷土への愛着と誇りを醸成し、交流人口を拡大する機会を創出して参ります。

1	事業推進体制・基本方針とキャッチフレーズ
2	記念事業ロゴマークと統一カラーデザイン
3	令和3年度プレ事業と令和4年度記念事業
4	全体スケジュール
5	普及啓発事業 記念式典・講演会
6	普及啓発事業 ミュージアム連携・若者たちへの歴史文化の継承
7	普及啓発事業 ロゴマークの効果的な活用・市民活動支援
8	情報発信事業 公式サイト・SNS等メディアを活用した発信
9	観光誘客事業 観光客のにぎわいづくり・旅行会社等との連携
10	歴史発見事業 次代を担う子どもたちへ伝えたいこと
11	歴史発見事業 学術的な学びの提供
12	みんなであつなごう将来 次代へ継承する記念事業の成果
13	事業費規模



事業推進体制

令和2年度、酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会では有識者やまちづくり経験者等から成る4つの専門部会を立ち上げ、太下義之氏、渡邊賢一氏から指導、助言を得ながら、記念事業の検討、協議を重ねてきました。令和3年度は、全体事業計画に基づきプレ事業を推進しながら、令和4年度記念事業のさらなる充実に向けて協議を行って参ります。



基本方針とキャッチフレーズ

記念事業の本質的な目的を多くの皆様にわかりやすくお伝えするために、各専門部会で協議しながら、基本方針とキャッチフレーズを作成しました。

基本方針

庄内の歴史を知り、
庄内の精神・価値を学び考え、
持続可能な未来を創造します。

キャッチフレーズ

SHONAI 庄内 400年から学ぶ
SHORAI 将来 みんなでつなごう

記念事業ロゴマーク

記念事業ロゴマークは、広く企業・団体等、地域の住民の皆様より、記念事業PRに資する取組・活動で使用していただき、**庄内地域**の歴史や文化、記念事業の普及啓発を図っていきます。

- ◆デザイン公募R2.12.25-1.17 応募総数181点
- ◆審査会R3.2.1
 - ・審査委員長 中山ダイスケ氏（東北芸術工科大学学長）
 - ・一般投票対象とする3点を選定
- ◆一般投票R3.2.18-3.18 総票数3,791票
最多得票1,413票を獲得した右のデザインを採用



酒井家庄内入部400年

統一カラーデザイン

記念事業ロゴマークの3色カラー（赤、金、黒）をベースとして、統一カラーデザインを作成し、のぼり旗などPRグッズ、パネル等媒体に活用します。

- ◆デザイン制作者 天野穂積氏（静岡県静岡市）
- ◆デザインコンセプト
「400」をモチーフとして酒井家の家紋と初代・忠次の兜を組み合わせ、正方形は庄内米づくりの枅、円は交流、かすれば次代への発展と勢いを表現しています。



のぼり旗
庄内地域の関係機関へ広く配布



公式サイト



PR動画

未来につなげる 城下のまちづくり

- ◆ 鶴岡公園周辺の観光客の案内機能の充実
- ◆ モデルルート構築による公園周辺の連携
- ◆ 城下のまち将来構想策定【市都市計画課】
- ◆ 鶴岡公園正面広場・内堀周辺の整備【市都市計画課】
- ◆ 未指定文化財調査、大宝館整備【市社会教育課】



鶴岡公園とその周辺の
**豊かな文化財を軸とした
にぎわい創出 と 観光周遊促進**

400年の理解を深める **普及啓発、情報発信**

- ◆ プレ講演会の開催(10/31)
- ◆ 公式サイト・SNS等による情報発信
- ◆ 酒井家文献調査・高校生古文書等体験
- ◆ 鶴岡公園周辺の案内機能充実

豊かな歴史資源を生かした **観光誘客**

- ◆ 観光ガイドブック制作・発行
- ◆ 観光モデルルート構築
- ◆ 鶴岡公園桜ライトアップ
- ◆ 旅行会社との連携、働きかけ

次代へ地域の誇りを伝える **歴史発見**

- ◆ 伝えたい歴史を紹介する小冊子の編集制作
- ◆ 酒井家ゆかりの地デジタルアーカイブ
- ◆ 親子記者プロジェクトのプレ開催
- ◆ 学術的な歴史講座等のプレ開催

令和3年度

- ◆ 記念式典・講演会の開催(10/9)
- ◆ 庄内地域博物館・文化施設等の連携展示
- ◆ 高校生古文書等体験、展示製作
- ◆ 市民活動支援

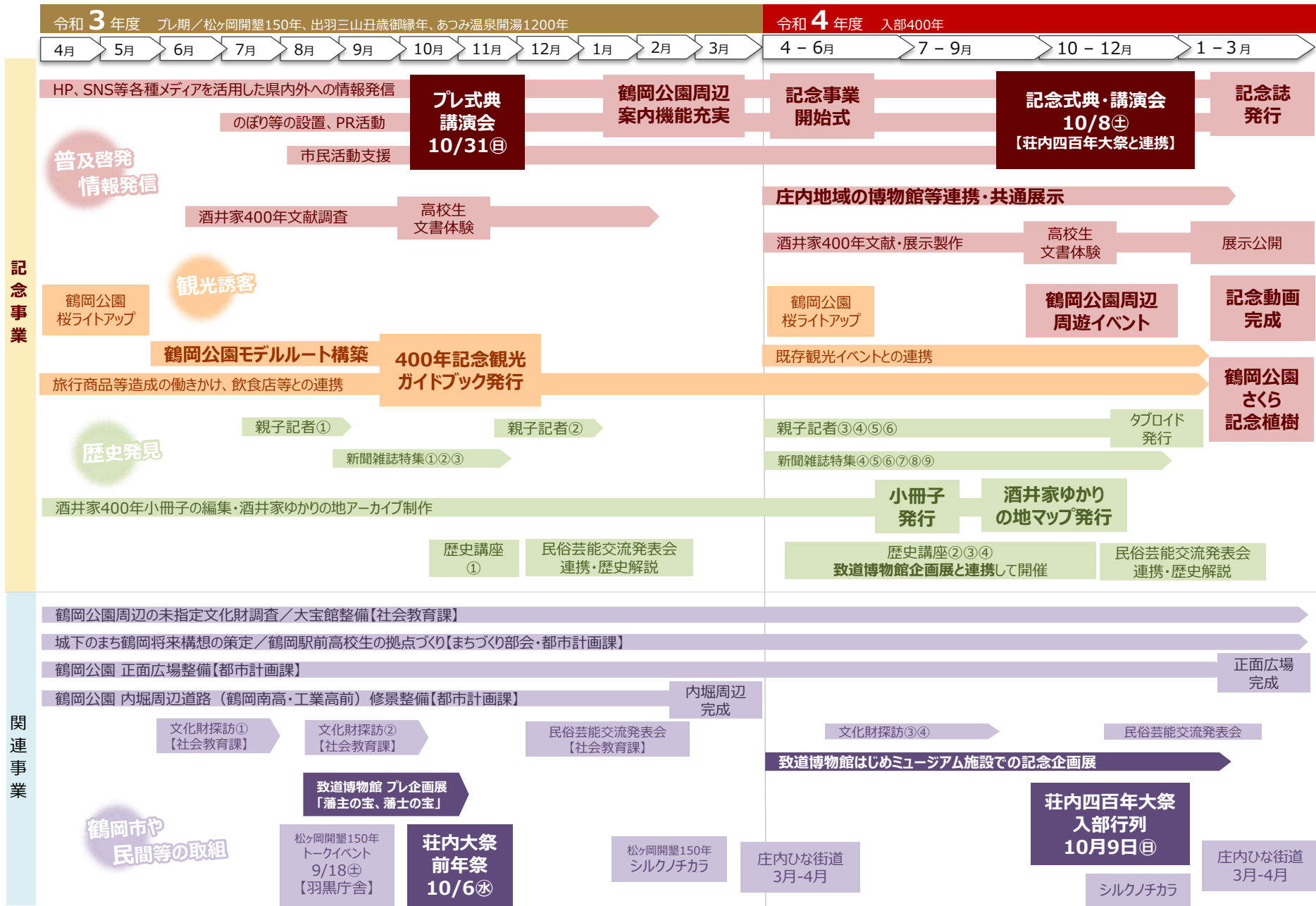
- ◆ 酒井家ゆかりの地を巡る観光誘客
- ◆ 鶴岡公園桜ライトアップ
- ◆ 旅行会社との連携、ツアー受入
- ◆ 既存観光イベントとの連携

- ◆ 小冊子の発行と頒布、活用
- ◆ 庄内地域酒井家ゆかりの地マップ発行
- ◆ 親子記者プロジェクトとタブロイド紙発行
- ◆ 学術的な歴史講座等の定期開催

令和4年度

記念事業の成果をレガシーに **みんなでつなごう将来**

- ◆ 記念事業を総括する記念誌の発行
- ◆ 住民参加・企業協賛型 歴史と文化、今を次代に伝える動画製作
- ◆ 鶴岡公園400年記念植樹



記念事業

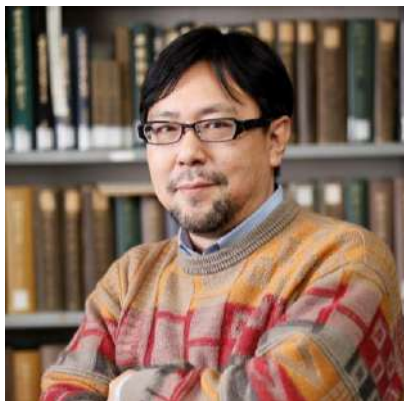
関連事業

鶴岡市や民間等の取組

酒井忠勝の庄内入部は1622年**10**月の史実あり。
「大泉叢誌」より

令和**3**年度、令和**4**年度ともに**10**月を事業期間の重点月に位置づけ、**庄内地域**の歴史と文化を学ぶ**式典・講演会**を開催します。

令和3年度 プレ式典・講演会



- ◆開催日 令和**3**年**10**月**31**日㊤
- ◆会場 グランドエル・サン
- ◆講師 **本郷 和人**氏
(東京大学史料編纂所教授)

ほんごう かずと。昭和35年(1960)東京都生まれ。
東京大学・同大学院で日本中世史を学ぶ。中世政治史、古文書学専攻。
史料編纂所で『大日本史料』第五編の編纂を担当。
著書に『天皇はなぜ生き残ったか』『戦国武将の明暗』など。
日本テレビ「世界一受けたい授業」などに出演し歴史解説。

- ①**プレ式典** 翌年10月式典に向けたスタートアップ宣言など
- ②**事業紹介** 記念事業の取組、記念事業に関連した企業団体や市民活動を紹介
- ③**基調講演** テーマ「酒井家400年の歴史と文化からの学び」(仮)
- ④**パネルディスカッション** 講師、地元関係者によるディスカッション

令和4年度 記念式典・講演会、庄内四百年大祭との連携、鶴岡公園周辺の周遊イベント

1
日
目

- ◆開催日 令和**4**年**10**月**8**日㊤
- ◆会場 荘銀タクト鶴岡
- ◆講師 (選定中)

- ①**記念式典** 入部400年を記念する式典
- ②**事業紹介** 記念事業の取組、記念事業に関連した企業団体や市民活動を紹介
- ③**伝統芸能** 酒井家が庇護した伝統芸能の上演
- ④**基調講演** テーマ「酒井家400年の歴史と文化を未来へ」(仮)
- ⑤**パネルディスカッション** 講師、関係者によるディスカッション

2
日
目

庄内四百年大祭・入部行列

- ◆開催日 令和**4**年**10**月**9**日㊤
- ◆主催 荘内大祭実行委員会

記念式典・講演会と庄内四百年大祭を**2日間通して開催**。
鶴岡公園周辺の文化施設を周遊を促すイベントも実施。



令和4年度 庄内地域のミュージアム連携・共通展示

庄内地域の博物館等ミュージアム施設による、江戸期から現代に至るまでの酒井家ゆかりの歴史や文化をテーマとした企画展等を共通展示として位置づけ、スタンプラリーを開催し、施設間連携の契機とします。

- ◆会 期 令和4年4月～令和5年1月末（予定）
- ◆対象事業 ①酒井家ゆかりの歴史や文化に関する展示会
②藩政時代の各地域の歴史や文化に関する展示会
- ◆内 容 共通ポスター・チラシの製作、スタンプラリーの展開
（令和3年度は各館の調整、媒体等の準備・製作）



鶴岡市の致道博物館
旧西田川郡役所〔国重要文化財〕



酒田市の本間家旧本邸
〔山形県指定文化財〕

若者たちへの歴史文化の継承

「城下のまち鶴岡将来構想」策定委員会では、鶴岡駅前を高校生の第三の居場所〈サードプレイス〉とする活動拠点づくりを目指しています。それに合わせて、若者たちへの歴史文化の継承のため、令和3年度では酒井家400年文献調査や高校生古文書等体験を実施し、令和4年度にその成果を展示公開します。

- ◆令和3年度 ・酒井家400年に係る文献調査（致道博物館「酒井家世紀」など資料編纂を含む）
・鶴岡市内高校生が古文書等に触れる体験など史料に基づき歴史を学ぶ機会の創出

- ◆令和4年度 ・高校生古文書等体験を行いながら文献調査の成果を展示公開



「酒井家世紀」（致道博物館所蔵）
酒井家初代から15代までの出来事がまとめられている

令和3年度から4年度にかけて、記念事業オリジナルグッズを展開しながら、**庄内地域**の多くの企業・団体等にロゴマークを使用していただくとともに、記念事業のPRに資する市民活動を支援します。

オリジナルグッズの製作



クリアファイル2種セット
500円



トートバッグ（缶バッチ付）
1,000円



プレリーフレット（正方形：四つ折り・両面）
主に若者をターゲットとした導入リーフレット。
風土と教育、釣りなど5つの項目に焦点を当てている



ノベルティシール（イメージ）
無料配布し広く普及啓発を図る

※鶴岡公園周辺の中核施設である致道博物館等に販売を委託します。

企業・団体等によるロゴマーク使用

公式サイト等から使用申請いただき、ロゴデータを提供。
申請・許可内容はサイト内で周知を行っていきます。

- ◆**使用期間** 令和3年5月～令和6年3月31日※
- ◆**許可条件** 記念事業PRに資する取組、商品開発等
※令和5年度は記念事業アフター年として使用継続。

市民活動の支援

酒井家庄内入部400年を記念して行う市民活動を支援。
令和3年度はプレ支援として5件程度を採択します。

- ◆**事業期間** 令和3年8月～
- ◆**対象** 鶴岡市内の5名以上からなる市民活動
- ◆**支援内容** 事業費1/2（上限50,000円）
※採択事業は式典等において取組内容を発表いただきます。



酒井家庄内入部400年

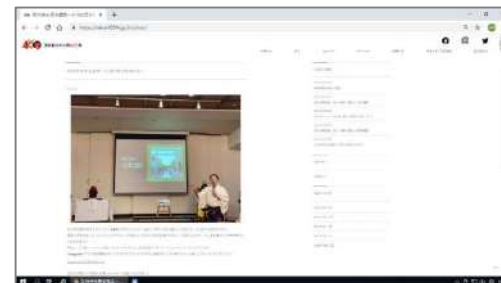
公式サイト・SNS等メディアを活用した発信

令和4年度 デジタルマーケティング

各種メディアの活用では、令和3年度から4年度にかけて、ターゲットに合わせた情報発信を行い、実行委員会以外の企業・団体等の取組も周知していきます。とくに**令和4年度は、SNS広告を活用したデジタルマーケティング調査を行い、観光PRの基礎資料を作成**します。

ターゲット

- ◆ 鶴岡市内 ▶ 鶴岡市広報での記念事業PR連載
- ◆ 若者世代 ▶ 公式サイト・SNSによる情報発信。web広告を活用した県内外へのPR
- ◆ 企業・団体 ▶ 庄内地域の各企業等による記念取組を公式サイト等で周知
- ◆ ラジオリスナー ▶ ラジオ番組での定期的なインタビュー形式による事業PR



公式サイトでの庄内神社の取組紹介

デジタルマーケティング

- ▶ SNS広告の発信と視聴層の傾向等調査を行い、今後のデジタルマーケティング戦略につなげます。

グッズを活用した記念事業PR

庄内地域の観光拠点や歴史文化を伝える博物館施設等にのぼり旗を配布するほか、各地で開催されるイベント等において、タペストリーやオリジナルグッズを活用した記念事業のPR活動を行います。

鶴岡公園周辺の記念事業案内拠点づくり、周辺施設の連携強化

鶴岡公園周辺の中核施設である致道博物館と連携して、令和4年4月からの実行委員会事業をはじめ、各地で開催される記念の取組への案内・ガイダンス拠点を展開し、施設間連携を強化します。



展示型タペストリー
(イメージ)

- ◆ 期間 令和4年4月～ ◆ 場所 致道博物館内

観光モデルルートの構築

令和3年度、松ヶ岡開墾150年に合わせて、**鶴岡公園を中心とした市街地観光の周遊**を促進し、**松ヶ岡開墾場を結ぶ観光モデルルート**を構築します。



旧致道館 [国指定史跡]
東北地方で唯一残る藩校建造物
致道館教育を今に伝えている



鶴岡公園の桜ライトアップ

400年記念ガイドブックの製作

令和3年度、**庄内地域**にある**酒井家ゆかりの地**を観光客向けに紹介する**ガイドブック**を製作します。観光施設や文化施設、集客施設に配布するほか、電子媒体を公開し、観光客への情報提供、大手旅行会社への働きかけに活用します。

鶴岡公園の桜ライトアップ

鶴岡公園の県道47号線沿いにある護国神社周辺の桜をライトアップ。「日本さくら名所100選」の桜の美しさを車窓へも提供します。

酒井家ゆかりの食を活用した取組との連携

鶴岡市内の料亭等による、酒井家ゆかりの食のメニューを活用した取組と連携して、旅行商品造成につなげます。

旅行会社との連携、企画支援

首都圏の大手旅行会社やDEGAM鶴岡ツーリズムビューローと連携して、首都圏において、鶴岡・庄内の歴史と文化を学ぶ会員参加型のセミナーを複数回開催します。

セミナー最終回は鶴岡・庄内へのツアーを開催し学びの総括とします。

鶴岡食文化創造都市推進協議会との連携

協議会が行う「**食と食文化の魅力プロモーション事業**」と連携して、記念事業の観光誘客と交流人口の拡大を図ります。

令和3年度 小冊子の編集・製作

主に中学生を対象として**庄内地域**の歴史や文化を伝える**小冊子**を製作・発行します。
令和3年度に編集・製作を行い、**令和4年度記念事業において発行・頒布**します。
令和5年度以降のデジタルデータによる頒布(GIGAスクール構想など)を検討します。

- ◆ 史料に基づきながら酒井家ゆかりの歴史文化を選定。
- ◆ 高校生の協力を得ながら、読みやすい文章づくりを図る。
- ◆ GIGAスクール構想との連携活用も検討する。

令和4年度 小冊子の発行と頒布

小冊子掲載項目の一例(検討中)

- ◆ 江戸時代前期 忠勝入部、黒川能の庇護など
- ◆ 中期 松山藩、北前船と酒田湊など
- ◆ 後期 致道館、酒田の本間家など
- ◆ 明治以降 西郷と庄内、松ヶ岡開墾など

令和3年度 酒井家ゆかりの地 デジタルアーカイブ化

酒田市の本間家旧本邸や山居倉庫、遊佐町の白井新田など、**庄内地域**の各地に**酒井家ゆかりの地**は点在し、その範囲はさらに東京・京都・愛知など県外にもわたります。
これらの名所・旧跡等の静止画をまとめた**デジタルアーカイブ**を作成します。
令和4年度にはマップ化し、小冊子等と合わせて活用していきます。

山居倉庫 [国指定史跡]
明治26年(1893)、旧庄内藩主
酒井家により建造された米保管倉庫



親子記者プロジェクト(仮称)



令和3年度から4年度にかけて、**庄内地域**の小学生世代が親とともに、現役新聞記者のアドバイスを
受けながら、**酒井家ゆかりの歴史と文化を楽しく学ぶ**機会を創出します。

- ◆ 令和3年度 夏・秋の計2回 テーマは**出羽三山、松ヶ岡開墾場**。
- ◆ 令和4年度 4回程度実施。**2か年の取組の総括をタブロイド紙で発行**。

歴史講座 協力：致道博物館、鶴岡市郷土資料館

酒井家庄内入部400年の歴史や文化を**学術的・専門的な観点から学ぶ**歴史講座を開催します。

- ◆令和3年度 11月下旬に県外から**歴史研究家**を招致して1回開催。
- ◆令和4年度 年4回程度、**致道博物館の400年記念企画展のテーマに合わせて開催。**

民俗芸能交流発表会での**歴史解説**

令和3年度、4年度において、鶴岡市教育委員会が年1回開催する、鶴岡市の各地域に伝わる能や舞といった民俗芸能の交流発表会で、**来場者の理解をより深める**ため、専門家を招致し、**各芸能の歴史的な解説**を行います。



民俗芸能交流発表会の様子
(令和2年12月6日/荘銀タクト鶴岡)

新聞・地域情報誌での**特集掲載**



地域情報誌「クレードル」
発行：出羽庄内地域デザイン

県内・庄内の新聞地方紙、地域情報誌において、それぞれの特色を活かしながら酒井家ゆかりの歴史や文化をテーマとした特集記事を掲載します。

- ◆媒体数 **3媒体** 県内地方紙2、地域情報誌1
- ◆掲載回数 令和3年度 各**1回**
令和4年度 各**1回** (計6回)

記念誌の製作

記念事業を総括する**記念誌**を製作します。

掲載項目

- ◆ 酒井家ゆかりの歴史・文化解説、特別寄稿、記念事業の成果記録

鶴岡・庄内の歴史・文化、将来歴史となる“今”を動画記録

記念事業の記録とともに、城下の面影を残すまちづくりをはじめ、400年の歴史と文化を伝え、かつ将来歴史となる鶴岡・庄内の“今”をまとめた動画を製作します。

住民参加・企業協賛を得ながら、**デジタルによる歴史と文化の継承**を図ります。

住民参加型・企業協賛型の動画製作

- ◆ 静止画と動画を組み合わせます。静止画を一般募集しながら、企業協賛を募ります。



鶴岡公園前の県道47号線
緩やかなカーブからは、城郭に配慮した、まちづくりの経過がうかがえる

テレビ番組制作

令和3年度から4年度までの記念事業の取組をまとめたテレビ番組を制作します。



鶴岡公園の桜
「日本さくら名所100選」に選ばれている

鶴岡公園400年記念さくら植樹

令和4年度末、鶴岡公園正面広場の整備完了に当たり、桜の**記念植樹**を行います。
植樹では、協賛各企業や事業協力者を記した記念プレートを併せて設置します。

令和3年度 事業費

事業名	内容	金額 (円)
1 普及啓発事業	プレ式典等開催費 博物館等共通展示 文献調査・高校生古文書等体験 プレ市民活動支援	5,200,000
2 情報発信事業	公式サイト・SNS運営 のぼり等PRグッズ製作 鶴岡公園周辺案内拠点づくり	4,850,000
3 観光誘客事業	観光モデルルート構築 ガイドブック制作 旅行会社との連携 鶴岡市内飲食土産等の連携 鶴岡公園桜ライトアップ	4,400,000
4 歴史発見事業	小冊子編集 ゆかりの地アーカイブ化 親子記者プロジェクト2回 新聞等特集掲載3回 歴史講座1回、民俗芸能解説	3,800,000
運営費	会議開催費 有識者・事業協力者謝礼 消耗品、費用弁償、予備費等	1,700,000
合計		19,950,000

財源

- ◆地方創生推進交付金（内閣府）
- ◆企業協賛（R4）
- ◆庄内観光コンベンション協会補助金
- ◆オリジナルグッズ売上金
- ◆鶴岡市補助金

令和4年度 概算事業費

事業名	内容	金額 (円)
1 普及啓発事業	記念式典等開催費 博物館等共通展示 高校生古文書等体験・展示製作 鶴岡公園周辺の周遊イベント 市民活動支援	11,000,000
2 情報発信事業	公式サイト・SNS運営 のぼり等PRグッズ製作 記念事業PR展示の強化 デジタルマーケティング調査	6,200,000
3 観光誘客事業	モデルルート・ガイドブック頒布 DMO・旅行会社との連携 市内飲食業等との連携 既存観光イベントとの連携 鶴岡公園桜ライトアップ	6,700,000
4 歴史発見事業	小冊子発行 ゆかりの地マップ発行 親子記者プロジェクト4回 新聞等特集掲載3回 歴史講座4回、民俗芸能解説	8,500,000
5 みんなでつなごう未来	記念誌制作 住民参加型・協賛型動画製作 テレビ番組製作 記念植樹	11,500,000
運営費	会議開催費 有識者・事業協力者謝礼 消耗品、費用弁償等	1,100,000
合計		45,000,000

※令和4年度事業は想定費用であり、3年度中に事業内容とともに精査します。

※各事業費には、鶴岡市が実施する整備等の事業費は含みません。

記念事業の成果指標KPI（地方創生推進交付金実施計画より）

項目	令和元年度	令和2年度 【基準年】	令和3年度	令和4年度	備考
1 市民活動をはじめ民間企業・団体による 庄内の歴史や文化を扱う取組の件数（件）	0	1	4 (前年+3)	9 (前年+5)	
2 鶴岡公園周辺文化財等施設の入込客数（人）	121,000	59,400	79,400 (前年+20,000)	129,400 (前年+50,000)	●対象施設 致道館、大宝館、致道博物館など

※令和2年度はコロナ禍のため減少。令和4年度まで令和元年度以上の入込客数をを目指す。



酒井家庄内入部400年

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会 全体事業計画

発行日 令和3年4月1日

発行 酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会

住 所 〒997-8601山形県鶴岡市馬場町9番25号

電 話 0235-25-2111 (内線525、526)

F A X 0235-25-2990

事務局 鶴岡市企画部政策企画課

商工観光部観光物産課

建設部都市計画課

教育委員会事務局社会教育課

編集 株式会社山形アドバイザー